

九州のがんばる女性農業者

【宮崎県で活躍する女性農業者】

三輪祥糸さん（宮崎市）

ごぼう、ほうれんそう、水稻を中心とした営農を行っている。今回訪問した際にはオクラを栽培していた。法人経営体であり、夫、インドネシアからの実習生とともに働いている。地域全体で実習生を支えつつ、実習生たちは重要な戦力として働いている。夫とも家事などの役割を分担し、良好な協力体制が築かれていた。



鬼塚ルリ子さん（宮崎市）

主にミニトマトの栽培を行っており、鬼塚農園では「ラブリールー」という名前で販売をしている。夫、パート従業員と農作業を行っている。夫とも連携しながら、女性農業者のグループ活動や研修会にも積極的に参加されている。また、農業経営については、一人で抱え込むのではなく、仲間同士で情報共有しながらすすめることが大切との思いもある。



安藤一美さん（西都市）

マンゴーを中心とした施設園芸を行っている。夫とも協力しながら経営を進めている。ブログやSNSによって、ネットワークづくりや農業の魅力も発信している。台風や酷暑などの自然災害により大変なこともあるが、日々の学びや大切に育てたものを収穫する喜びなど一つ一つの達成感を得ながら前向きに農業を楽しんでいる。

